

工学部教室系技術職員研修（第7回）実施要項

1. 目的

教室系技術職員としての立場と責務を自覚させるとともに、大学における技術職務全般への視野を養い、自己啓発、相互啓発の機会を与えることにより、職員としての資質の向上及び新技術の修得を図る。

2. 対象者

工学部技術官、技術官補全員

（超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センターを含む。）

3. 期間

平成10年8月19日（水） ～ 8月21日（金）

4. 場所

大阪大学附属図書館吹田分館視聴覚ホール

5. 日程

別紙のとおり

6. 研修テーマ

工学部技術官、技術官補による技術の継承、発展及び開発について
サブテーマ「設計と安全」

7. 研修方法

- (1) 設計と安全に関する基調講演及び講演
- (2) 学外施設見学（明石海峡大橋）
- (3) 専門分野等によるグループ又は個人単位によりテーマを設け、研究成果の発表を全体研修の場で行う。

（発表は、口頭発表のほか、製作物やパネルを展示し、質疑を行うことも含む。）

- (4) 移動中の車内研修（技術及びサービス関係ビデオによる）

8. 講師

基調講演講師 本州四国連絡橋公団第一管理局保全部計画課長 佃 長 次

講演講師 大阪大学大学院工学研究科教授 座 古 勝

9. 研修のまとめ

研修終了後、報告集を発行する。

10. 経費

受講者の研修に要する経費は、工学部の負担とする。

なお、懇親会費は受講者の負担とする。

11. 研修の記録等

研修を修了した者には修了証書を交付し、その旨人事記録に記載する。

12. 研修担当掛

総務課人事掛 (内線7207・7208)